



平成 24 年度会報第 4 号

平成 25 年 3 月 29 日

会報 峰

(社) 日本山岳会石川支部

支部長 中川 博人

平成 25 年 4 月 20 日 (土) は支部定期総会の日です。本紙「今後の予定」欄に欠席の際の委任状についての記載がありますので、必ずお読みいただき返信願います。

岩谷浩三さんを偲んで

大幡 裕

1 月 12 日岩谷さんは帰らぬ人となられた。
随分以前から心臓を患っていたが、直接の原因は肝硬変だったらしい。

学生時代の私には、高校山岳部の先輩で、十歳も歳が違うと、雲の上の存在だった。

私は、若い時代の岩谷さんを直接知らないが、剣岳で岩に登り、白山の冬季縦走や、東アフリカ遠征に参加し、スキーでは指導員になりと大いに活躍されてきた。小松山岳会では、私たちのカナダ・ユーコン遠征の牽引役でもあった。

仕事の上でも、庭苑設計の分野に挑戦して多く

の業績を残し、平成 20 年には日本造園学会賞設計作品部門賞を受賞された。しかし、人に聞かれる前に、自分の方から業績を語るの、損をしているところがあったようだが。

近年は、体の調子が悪く、山へ登ることができないが、日本山岳会の会報『山』や機関誌『山岳』を隅から隅まで読んでいと聞き、変わらぬ山への想いを感じたものであった。

棺ひつぎの上には愛用のピッケルとザイルが飾られていた。ご冥福をお祈りしたい。

山行・行事報告

1. 新春登山兼新年会

新春登山「鞍掛山(478m)」 平成 25 年 1 月 27 日 (日)

直前まで荒れた天候だったが、登山口に集合する頃には、青空ものぞく穏やかな日和となり、20cm ほどの新雪が風景を明るく美しく引き立てていた。

第一駐車場発(10:10)、雪の感触を楽しみながら西ノ谷登山道をローペースで歩いて山頂着(11:30)。しばし晴れ間の展望を楽しんだ後、直下の避難小屋着(11:45)。持参の炭火を熾して寒気を追い出し、小屋の中には暖気が溢れる。他の常連

登山者を交え、追って到着した中川支部長も加わり、昼食をとりながらの和やかな会話に花が咲き、楽しいひと時だった。

雪雲が覆い始め小雪が舞ってきた。小屋前で写真を撮って、行者岩コースの途に就く(13:10)。帰途、行者岩でしばし足を止め、また、多数の氷柱が並ぶ岩壁を眺め、着雪が美しい杉木立の間を足取り軽く辿った。途中止んでいた雪が本格的に降りだす頃、駐車場に着いた(14:10)。



支部新年会「おびし荘」 1月27～28日

支部長の挨拶、故岩谷さんの逝去を悼み黙とうを捧げた後、埴埴会員の乾杯の音頭で開宴(18:10)。新年の抱負を語り合うなど大いに歓談。飲み放題の酒やビールの追加を重ね料理は沢山、大いに盛り上がった。その後、大部屋に集まって飲み直し。熱い山談義が止まぬうちに、入浴制限時間(24:00)も近づいてお開きになった。翌日は朝食後、自由解散。(文:大庭保夫 写真:大庭・中川)

◎参加者 山行10名、新年会13名(担当 山行＝大庭、新年会＝関本)

登山と新年会 中川、前田、西嶋夫妻、田井、関本、大庭夫妻、塚谷(25年度入会)、

登山 八十嶋 新年会 織田、高田、大幡、長清

2. 平成24年度支部事務局担当者会議

- ・日程 平成25年1月26日(土)～27日(日)
- ・場所 1/26 本部 104 会議室 1/27 プラザエフ会議室
- ・参加者 事務局(前川)

当日は風雪で、JRが10時頃まで運休し遅刻しての参加となったが、以下要点のみ報告します。

1/26(本部 104 会議室)

1. 会長挨拶

会長に就任してから3年半経ったが、JACは若年層、財政面等で危機的な状況にある。各支部には是非、1割の純増を期待したい。JACは人材の宝庫であり、どこへ行ってもリーダーシップが取れる人ばかりである。人材がいないというのは嘘で、必ず誰かいることを自覚して欲しい。

会にはいろんなクラブがあるので活用いただくとともに、各支部に於いてもいろんなクラブを創設し、さらなる魅力ある支部づくりに尽力願いたい。

また、各自治体には必ず助成金制度があるので、支部事業の展開時に有効活用して欲しい。

2. 会務報告

① 委員会改善の問題点と改善策(会全体、各委員会)について

- ・ 理事会と委員会の一体化推進
- ・ 委員会の新設・・・若手の育成を目指した JAC-YOUTH PTを一層強化し 4/1 から YOUTH Club を立ち上げる。
- ・ インターネット小委員会を改めデジタルメディア委員会を立ち上げる。

② 会組織図について

③ 支部よりの問題点、提案について

石川からは、入会金対策や会員有識者による講演会等を提案。

④ 「山の日制定」について

6月の第一日曜日祝日化を視野に全国で行動展開の呼びかけ要請

⑤ 日中韓三国学生交流登山について

2013年8月24～29日にかけて神奈川大学合宿所及び保養所で日中韓学生30名役員20名で実施

⑥ 旅行業法勉強会について

日帰り、宿泊の国内外の各種募集型登山における旅行業法との関わりについて

⑦ 環境省東北海岸トレイル（仮称）について

三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン」に示された事業の一つで、今後トレイルの活用が期待される関係団体に説明。

⑧ 支部行事案内（小島烏水祭、周年行事等）

四国支部主催の「小島烏水祭」（2013.4.13～14）や、青森支部20周年祈念式典（2013.10.12）等が紹介され、各支部からの参加協力要請あり。

⑨ 山岳保険について

⑩ その他

3. 平成24年度支部事業報告書、会務報告書提出について

4. 財政状況について（寄付受入含む）

5. 「会計処理の手引き」（寄付金処理含む）について

6. 寄付を受けた場合の非課税措置と各種助成金について

7. 公益目的事業について

8. 特別講演「日本の山岳界について」神崎忠男日本山岳協会会長

日本の山岳界の組織構図とそこにおける日本山岳会のポジションをDVDで明解に説明される。

特に日本山岳会と日本山岳協会は「登山」に向かつては、同じような目的に進んでいるが、組織としての運営、活動にはそれぞれが特質を有していることを認識して、お互いが理解し、補い合いながら「登山者のため」の共存共栄の登山界づくりを目指すべきとの提言が成される。

9. 平成25年度支部事業計画について（途中で中断し翌日へ持ち越す）

富山支部より6/1～2日の日程で支部創立65周年記念式典と播隆祭の開催、7/6～7日の日程で立山で自然保護全国集会の開催の紹介あり。

1/27（プラザエフ会議室）

1. 前日についての質疑応答及び平成25年度支部事業計画続編

2. 三百名山ガイドブック出版事業について

日本山岳会編集の「日本三百名山登山ガイド」を全面的にリメイクするので各支部に執筆依頼有り。

石川支部は最終的には、「医王山、大門山、大笠山、笈ヶ岳、白山 三方岩岳」の6山を受け持つ。

3. 第29回全国支部懇談会（静岡支部）にいて

10/20（日）～21（月）富士山山麓で開催

4. 事務連絡

以上 報告:事務局（前川）

3. 平成 24 年度第 2 回役員会議

- ・ 日時 平成 25 年 2 月 18 日 (月) 19 時～22 時
- ・ 場所 金沢市総合体育館第三会議室
- ・ 参加者 中川 関本 西嶋 埴崎 長清 前田 織田 高田 八十嶋 前川 (10 名)

< 審議事項 >

(1) 平成 25 年度石川支部事業計画 (事業：前川 山行：関本)

以下の点を変更し、原案通り承認

① 次の二事業を日程変更した。

- ・ 登山道整備 (不惑新道) 5/18 を 10/26 に変更
- ・ 自然観察会・秋山紅葉山行 10/26 を 11/9 に変更

② 行事担当者の変更

8/2～5 夏山合宿 (槍ヶ岳北鎌尾根) 担当者 関本を中川に変更

③ 山行場所の変更

3/15 「加越国境」を「赤谷の頭」に変更

④ その他、中川支部長から他支部行事への参加の際は、場合によっては日程を追加する等して、近隣の山を登ってくると良いとの提言有り。

(2) 日本三百名山原稿執筆 (前川)

JAC が選定した日本三百名山 (山と溪谷社) の登山ガイドブックを全面的にリメイクするにあたり本部から各支部に協力依頼有り。公益社団法人収益事業。

石川支部は最終的には 6 山受け持ち (① 医王山は富山支部、⑤ 三方岩岳は岐阜支部からの負託依頼) で、次のとおり執筆責任者を決定し、年内中の完成を目指す。

取材時の同行者を支部内から募集し、支部全体で取り組むこととする。

- ① 医王山 埴崎 滋
- ② 大門山 長清 幸子
- ③ 大笠山 石森 長博
- ④ 笈ヶ岳 八十嶋 仁
- ⑤ 三方岩岳 前川 陽
- ⑥ 白山 西嶋 鍊太郎

編集の基本姿勢として、登山者 (利用者) 目線に立ったベストなコース、ベストなシーズンを選定した取材で、原則無積雪期 (新緑～紅葉期) とする。

撮影の写真はクオリティがポイントで、雨や霧は不可。

< 報告事項 >

(1) 第 19 回横断山脈研究会総会 (西嶋)

会場世話人の西嶋会員から、世界トップクラスのアルピニストが注目する中国の横断山脈と東チベット山域の調査・研究を行っている研究会が 3 月 30 (土)～31 日に金沢市近江町交流プラザで開催されるに際し、配布資料に基づき聴講申し込み方法等概要説明。

(2) 大汝小屋について (西嶋)

大汝小屋は一時、気象観測にも使用されていたらしく気象庁にいた、新田次郎なども関わっていたらしい。大汝小屋管理会は石川支部有志と白山会、金沢山岳会有志で維持していくが、石川支部の名前が出るので、連絡が支部長や事務局等に入るかもしれないので、その際はよろしく。

(3)松尾峠遭難 90 年祭開催について（中川）

板倉勝宣が立山松尾峠付近で疲労凍死してから 90 年が経過するに際し、4 月 6～7 日
芦峯寺で「松尾峠遭難 90 年祭」と記念講演会等が実施されるが、それらの概要を説明。

以上、事務局（前川）

4. (公)山岳映画の夕べ ～白き氷河の果てに～

- ・日程 平成 25 年 2 月 23 日(土) 14 時～16 時 30 分
- ・場所 金沢勤労者プラザ 405 研修室
- ・参加者 池内信彦 池本順平 岡本明男 織田伸治夫妻 高田和彦 津田文夫 中川博人
西嶋鍊太郎夫妻 藤江以住 前田健進 前川陽（友人 1 名）他、男性 3 名 女性 3 名
計 20 名

当日は朝から雪模様のあいにくの天候で出足が危ぶまれる。結果は予想どおりの低調な入りであったが、映画の内容は素晴らしく、参加者全員 36 年前の実録映画に酔いしれる。

当日は、地元紙（北国）も取材に訪れ 3/24 の朝刊にも掲載された。

冒頭中川支部長から挨拶があり、石川支部が 42 年前に津田顧問の紹介で、パキスタンのヒンドゥークシュ山脈の最高峰であるティリチミール

（7,708m）に挑戦した際のいわゆるヒマラヤ登山の困難さと素晴らしさに、これから観る映画への興味が一層膨らむ。映画の内容は、既にご案内のとおり今から 36 年前の 1977 年に日本山岳協会が派遣した世界第 2 の高峰 K2(8,611m)挑戦の記録映画で、日本人隊員 47 名、ローポータ延べ 1,600 人の大遠征隊がキャラバンから登頂に至るまでの映像は単に記録映画に留まらず、山男たちの人間ドラマを描いた 2 時間の堂々たる山岳映画となっている。K2（ケーツー）は、中国ウイグル自治区とパキスタンとの国境にあり、カラコルム山脈に属する。因みにパキスタン北部にはカラコルム山脈・ヒマラヤ山脈・ヒンドゥークシュ山脈の 3 つの名だたる山脈が走っている。

人里から遠く離れた奥地にあり、19 世紀末までは無名の山で、不安定な天候、強い風、急峻な傾斜に加えて、中国側からのアプローチ（北壁ルート）は困難とされているため、ほとんどの登山者はパキスタン側からアプローチする。登頂の難しさでは標高 8,848m の世界最高峰のエベレストより上

で、実際にエベレストよりも大幅に登頂成功者が少なく（2010 年時点で延べ 302 人が登頂）世界一登ることが難しい山とも言われる。冬季における登頂は未だ為されていない。遭難の数も多く統計によっては 4 人に 1 人が命を落とすと言われている。チャールズ・ハウストン、ロバート・ベイツ共著の書籍から「非情の山」と呼ばれる。

インドの測量局が 1856 年からカラコルム山系の測量をはじめた際に、無名の山にカラコルム（Karakorum）の頭文字“K”をとって順に K1, K2, K3, K4, K5 と測量番号を付けた。K2 以外の山については名前がつけられたり、現地の名前が採用されたりしたが、K2 だけは測量番号がそのまま山名に残ったと言われている。（途中よりウィキペディアから抜粋引用）

（文、写真：前川陽）



5. 西山 ～雪洞訓練山行～

- ・日程 平成25年3月9日(土)～10日(日)
- ・場所 西山(857m) 白峰
- ・参加者 関本邦晴(CL) 中川博人 大庭保夫 前川陽 木原清 八十嶋仁 桜井茂紀 西川輝
埴崎滋 安田(埴崎友人)

当初は昨年の2月11頃に計画したが、直前の2月7日にリーダーの自分が不注意から右膝側膝靱帯を負傷し計画が頓挫してしまった。

今回は種々の事情で昨年の計画より約1ヶ月遅れたが、その間に季節は春に一変してしまった。

3月9日9時、道の駅「瀬女」に集合後、西山「望岳苑」に向かう。途中国道脇から除雪された林道に入る。終点で車が5～6台駐車できるスペースがあり、荷物を分配後、10時10分頃出発。

天気は快晴、ワカンを付け歩き出す。先行者のトレースが数条残っており、特段ルートを選定する必要もなく、ただ、高みを目指して登る。約1時間ほどであっけなく頂上に着く。そこは無風状態で空を見上げると雲一つなく快晴のまさしく春山である。頂上からは360度の展望が開け、正面には白山が巨大な山容を横たえている、御前峰と大汝峰の間にチョコンと剣ヶ峰が見える、昼食の後、雪洞を掘るために付近の積雪状況を調べる。木原さんが持ってきたゾンデ棒で積雪を測ると頂上で優に2mあり問題はないが雪の状態が悪い、かなりの深さまでザラメ状態となっている。とりあえず雪洞の場所を頂上の北側斜面と決め2箇所に分れて掘り始めるが雪洞にとって良質の「しまり雪」は地上から1m程度で、あとは指が入る程度の「ざらめ雪」で、雪洞は作れても宿泊は不可能と判断する。一人が横になれる程度まで掘ったところで諦めテント泊とする。テントは3～4人用が2張り、2～3人用1張で、雪面を掘り下げて均し、周囲にブロックを積み快適な“テン場”を作る、その間、大庭さんが宴会場所のいすとテーブルを雪を固めて作る。その後は夕食までの時間を自由行動として、各々、最高のロケーションで「閑雅なる怠惰」な時間を過ごす。

余談だが、八十嶋会員の第一子誕生(女児)の予定日があと数日に迫っており、「なにかあれ

ば電話が掛かるので帰らなければならない」とのこと。それから話しが持ち上がり、「名前は妻の希望で古めかしい名前にしたい」。では、白山の祭神、菊理媛から一字貰って、菊、菊子、菊江では、等々と恰好の肴にされる。

夜は素晴らしい星空、南天には、冬の大三角形やオリオン座、赤色巨星のペテルギウスには640年前の光を見ているのだから今はもう爆発してないかも知れないとか、スバルが見える、北極星が分かりにくいとかで星談義となった。

翌朝、目覚めると打って変わって雲が低く垂れ込め今にも降り出しそうな空、風も妙に生ぬるく雨のにおいがするような風、早々にテント畳んで下山することに決める。その頃日曜日参加の埴崎さんが駐車場から今から登り始めるとの電話があり、行き違いなるかも知れない旨伝え、撤収作業を始め、埴崎さんと友人が頂上に到着し入れ替わるように下山を始める。

帰路、車中で土砂降りとなる。埴崎さん達は下山されたかと心配になるが、あの状態で頂上に長居はしないだろうと懸念を打ち消す。今回は、不完全な雪洞合宿となったが最高の天気と満天の星で「良しとするか」と自己採点する。

(文：関本邦晴 写真：前川陽)



6. 他支部行事参加報告 富山支部山岳講演会

- ・日時 平成25年2月15日(金) 18:30~20:00
- ・場所 富山県民会館 701 号室
- ・演題 ネパール・ヒマラヤへ 夢の架け橋 20 年
- ・講師 富山県支部会員 辻 斉
- ・石川支部参加者 埴崎 滋 前川陽(友人 1 名)

当日は、みぞれ混じりのあいにくの天候であったが、会場の 701 会議室はほぼ定員 60 名の満員の盛況であった。洩れ聞く会場内の会話から聴講者は、富山支部会員関連やその他山岳愛好者がほとんどであった。

石川支部の埴崎さんとお会いし「ご苦労様」とお互いに会釈を交わす。

冒頭、山田支部長から挨拶があり、講師の紹介や今年は富山支部創立 65 周年で、6 月には創立記念を兼ねた播隆祭や、7 月には立山での自然保護全国集会、また遡って 4 月 6~7 日には、共催事業として板倉勝宣が立山・弥陀ヶ原の松尾峠で遭難死(大正 12 年 1 月 17 日)してから 90 年経ったのを記念して、「松尾峠遭難 90 年祭」等が紹介される。最後にご丁寧にも、石川支部からの聴講紹介もいただき大いに恐縮する。

講師の辻斉氏は、元県立魚津高校教諭で、専門は山とスキー。全国高体連登山部常任理事等を勤められる。

1979 年富山県山岳連盟テリツォ・ピーク遠征隊で初めてヒマラヤを体験。その後、ヒマラヤの魅力にとりつかれるが、仕事は 30 年くらいは継続必要との意思で、1995 年 53 歳でようやく教職を辞しネパールへ渡る。高山病にかかりやすい体質に長年悩まされるが、その後の生業としてのヒマラヤでのトレッキング・ガイドとカトマンズの山側に 450 名収容のホテル経営をしながら、自らの体験(高山病等)を活かし、登山者の安全と高所順応に取り組む。

聴講中フツ、「優秀なコーチは必ずしも現役時代優秀な選手だったとは限らない」の言葉を思い出す。人の痛みを十分に知り尽くした指導者からの指導の方がありがたい場合が多いことを、講演のアチコチで悟る。講師の人生とは、「夢の実現」であり、夢は星の数ほどあり、永遠に続けていきたいとの

ことであった。その意味では、三浦雄一郎氏の生き方にも随分と共感され、三浦氏とも親しくヒマラヤでのいろんなエピソードも紹介される。数々のヒマラヤでの体験を DVD も交えトツトツと説明されたが、いずれも貴重なシーンで興味深い。いろんなことを話されたが、特に興味を持った以下の言葉を紹介し、締めくくりたい。

- ・ 山の失敗は、本来すべて自己責任である。
- ・ 山は健康診断してから来ること。
- ・ ヘリを呼べないガイドは危ない。
- ・ 3,000~6,000m ぐらいの間には全員が高山病にかかる。
- ・ 高山病とは急性高山病であり、下りれば治る。
- ・ 7,000m 級の山が一番むつかしいかもしれない。
- ・ 感性豊かな昔はキャンプで自作自演の歌を作り楽しんでた。
- ・ 25 周年経ちいろんな人に助けていただいたが、ほんとうに感謝している。

夢を実現され、カトマンズと富山を行き来し、富山支部の良きアドバイザーとしての講師は、往年の典型的な日本山岳会会員の風貌で、はた目にも実にジェントルマンであった。

(文・写真：前川陽)



今後の行事予定

参加希望者は、担当者もしくは事務局（前川：080-1952-7298 メール：maekawayo@gmail.com）まで、できるだけ早い時期に申し込みください。

1. (公)ふるさと登山道踏査①（フカタオ谷）

浅犀みくまりの道の魅力を一層深める新ルート開拓の一環として、フカタオ谷ルートの踏査を行いますので冒険心旺盛な方は是非参加ください。

- ・日程 平成25年4月6日（土）
- ・場所 河内谷川林道三又奥
- ・担当者 西嶋 錬太郎（090-1638-8666 メール：ren24@wa3.so-net.ne.jp）
- ・申込 4/3（水）までに担当者もしくは事務局へ
- ・集合 朝7時 浅野川温泉「湯楽」駐車場
- ・コース 7時発 ⇒ 河内谷曲町 ⇒（河内谷林道）⇒ 可能な限り奥まで車を入れる⇒ 河内谷林道最奥の三又 ⇒フカタオ堰堤 ⇒フカタオ左岸尾根 ⇒登山道山頂手前のコル ⇒ 順尾山 ⇒（同じルートで下山）⇒ 三又 ⇒ 湯楽温泉 17時
- ・個人装備：春の雪山日帰り装備・服装一式 かんじき 弁当 非常食 救急薬品
- ・団体装備：赤布100枚 GPS ロープ20m×2 捨て縄4 ツェルト1

（注）雨天等で翌日（4/7）にするかまたは別の日に延期するかは前日4/5夜に参加希望者に電話連絡します。連絡がなければ予定通り4/6実施です。



2. 春山雪上訓練

春山の雪上訓練は樹木の芽吹きが感じられ気分爽快です。冬季に固まった体ほぐしを兼ね参加下さい。

- ・日程 平成25年4月13日(土) 雨天時中止(順延無し)
- ・場所 医王山中腹
- ・集合 医王山スキー場 午前8時30分
- ・携行品 ピッケル、手袋、雨具、ヘッドランプ、帽子、スパッツ、弁当、水筒等日帰春山登山用具
*持っている方は持参下さい【アイゼン、ハーネス、カラビナ3枚(内1枚は安全還付)スリング大、中、小各1本】
○ 団装 : ザイル 40m 2本
- ・担当者 岡本 明男 (090-2126-9423 メール: aokamoto@cameo.plala.or.jp)
- ・申込 4/6(土)までに担当者へ

3. 平成25年度石川支部定期総会

年に一度の総会ですので、たくさんの方の参加でいろんなご意見を期待します。

- ・日時 平成25年4月20日(土)～21日(日)
- ・場所 「白山里」白山市瀬波
Tel 076-255-5998
- ・総会 4月20日(土) 17時～
- ・懇親会 18時30分～
- ・会費 1万1千円(懇親会費及び一泊二食料金)
- ・担当者 前川 (080-1952-7298 メール: maekawayo@gmail.com)
- ・申込 4/6(土)までに担当者へ
- ・委任状 会員で欠席される方は、支部長に議決権を委任する旨を記載したメールを事務局(前川)宛返信願います。メールの印刷を持って委任状とします。
- ・委任状記載内容(mail用)

⇒私は支部長に平成25年度石川支部定期総会に関する一切の権限を委任します。

平成25年〇月〇日 (氏名) 石川 支部男

なお、メール環境の無い方には出欠連絡用として返信用葉書を会報に同封しますが、会員で欠席の方は必ず委任状を記入し、事務局まで返信願います。

4. (公)ふるさと登山道整備兼新緑山行②(浅犀みくまりの道)

約3キロの「浅犀みくまりの道」も復旧して3年目になります。新緑の山を楽しみながら、登山道の草刈や破損した道標を補修します。

- ・日程 平成25年5月18日(土) 雨天時は5/19に順延
- ・場所 奥高尾山～順尾山
- ・担当者 八十嶋 仁 (080-1953-1212 メール: yasoi101@hotmail.co.jp)
- ・申込 5/11(土)までに担当者へ
- ・装備 登山用(作業)装備一式(食料・飲料水等含む)
鎌、なた、のこぎり、園芸用はさみなど(各自持参)

草刈り機（有志持ち寄り、事前連絡をお願いします。）

＊地図（2万 5000 分の 1 地形図「湯涌」）もあれば便利

- ・ 集合場所等 午前 7 時 湯涌温泉散策園駐車場（湯涌郵便局前の坂道上がり旧白雲楼ホテル付近）
- コース概要

- ・ メインルート

午前 7 時 湯涌温泉散策園駐車場（湯涌郵便局前の坂道上がり旧白雲楼ホテル付近）

- 各自車に分乗 → 河内谷林道 → 林道終点
- 尾根沿いに順尾山へ直登 → 登山道整備開始 → 奥高尾山
- 尾根沿いに林道終点へ直降 → 車 → 湯楽駐車場

- ・ サブルート ※悪天または道が荒れていた時

午前 7 時 湯涌温泉散策園駐車場（湯涌郵便局前の坂道上がり旧白雲楼ホテル付近）

- 車数台で別行動 → 高尾山駐車場に一部の車を残置 → 集合地に戻る
- 残った車に分乗 → 順尾山林道終点へ移動 → 登山開始 → 順尾山
- 登山道整備開始 → 奥高尾山 → 高尾山 → 高尾山駐車場
- 残置していた車に分乗 → 順尾山林道終点

5. (公) 山 岳 講 演 会

中川支部長が昭和 43 年に深田久弥と「笈ヶ岳」を登った、貴重な思い出を追想して講演します。

- ・ 日程 平成 25 年 5 月 26 日（日）
- ・ 場所 深田久弥山の文化館
- ・ 演題 追憶の笈ヶ岳（深田久弥氏との山行）
- ・ 講師 中川 博人
- ・ 申込等 入場無料、入場申込み等特に必要なし



6. 富山支部創立 65 周年記念式典・播隆祭・高頭山登山

友好支部の創立記念式典で、興味深い企画が組まれており、多数の参加者を望みます。

- ・ 日程 平成 25 年 6 月 1 日（土）～2 日（日）
- ・ 場所 以下の「内容」参照
- ・ 会費 10,000 円程度
- ・ 申込 5/25(土)までに事務局(前川)へ
- ・ 内容 ○6/1(土) 前夜祭 山の日講演会 懇親会
 - ・ 14 時～ 講演会「播隆上人について」 講師 黒野こうき氏
場所 大山地域市民センター（富山市上滝）または
白樺荘（富山市亀滝）
 - ・ 16 時～ 播隆コーナー（大山歴史民俗資料館）の説明と見学
 - ・ 18 時～ 懇親会、宿泊（白樺荘）⇒会費 10,000 円程度
- 6/2(日)
 - ・ 9 時～ 播隆祭（播隆上人顕彰碑前）
 - ・ 10 時～ 高頭山記念登山

7. 石川県安全登山の集い（石川県山岳協会主催）

公益事業で他の山岳会や一般参加者との友好を深める好機として、未経験者は是非参加願います。

- ・日程 平成25年6月8日（土）～9日（日）
- ・場所 吉野谷セミナーハウス・近隣の山
- ・申込 5/25（土）までに事務局（前川）へ

8. （公）ふるさと登山道整備③（杉峠道）

往時の生活道でもあった杉峠道を三ッ谷の人々の心境を推し量り整備するのも楽しみの一つです。

- ・日程 平成25年6月15日（土）
- ・場所 杉峠道
- ・担当者 織田伸治（090-6273-4772 メール：o-shin@msi.biglobe.ne.jp）
- ・申込 6月9日（日）までに担当者へ

集合日時 6/15（土）午前7時20分

集合場所 道の駅「瀬名」（乗り合いで杉峠登山口に行きます）

＊集合場所に寄らず直行される方は、三谷東俣杉峠登山口に午前8時までに集合願います。

用意する物 草刈り機、のこぎり、鎌、鉋のいずれかと昼食

＊例年草刈り機が足りないので、草刈り機が用意出来る方は、持参願います。

天候による決行の有無

土曜日が雨天の場合で、次の日の日曜日が雨天でない場合には日曜日に順延します。

土曜、日曜共に天候が思わしくなく、いずれか決めづらい場合は、金曜日に参加者に連絡します。

参加人数と草刈り用具状況を勘案し、一部の方には小原峠の整備に回って貰う場合があります。

9. ロープワーク・クライミングギア講習会

あらゆる技術は進化します。初心者は絶好の機会であり、ベテランは技術のブラッシュアップに是非参加下さい。特に夏山合宿参加者は必ず参加してください。

- ・日程 平成25年6月23日（日）
- ・場所 倉ヶ岳（雨天時は舟岡山スポーツ施設）
- ・担当者 田中康典（090-5177-6711 メール：mother-nature@yacht.ocn.ne.jp）
- ・申込 6/16（日）までに担当者へ

集合場所：「鶴来白山郷体育館」前の駐車場（白山市鶴来大国町口 125-2 TEL:076-273-3500）

- ・集合時間： 8：30 16：00 終了
- ・装備 ヘルメット、ハーネス、あればクライミングシューズ
室内履き用シューズ（雨天の場合）、ビレイデバイス
（ルベルソ、ATCなど）、安環付きカラビナ3枚、
変D型カラビナ2枚、ソーンスリング60cm2本、
120cm1本、あればクライミング用ロープ50m1本、
ディジーチェーン1本、ロープスリング1本

お知らせ

1.新規会員・会友の紹介

新しく2名の方が入会されますので、よろしくお願いします。

- ・尾山敏和会員（会員No. 15191 2012年9月25日入会 故岩谷浩三さん紹介）
- ・塚谷義昭会友（2013年4月1日入会 大庭保夫会員紹介）

2.「2012 いしかわスポーツ川柳」入賞作品決定

（財）石川県体育協会主催で、本支部にも紹介がありました「2012 石川スポーツ川柳」の入賞作品が以下のとおり決定しました。（残念ながら本支部からの入選者はなし）

なお、本年も応募作品を募集していますので、希望者は支部事務局（前川）へ4月20日までに、メール等で提出願います。

- 大賞 「スポーツを 家族ではじめ 会話増え」 40代 女性
- 金賞 「高めよう 心と体を スポーツで」 10代 女性
- 金賞 「金メダル かざす笑顔に 涙あり」 70代 男性
- 銀賞 「スポーツは 誘い誘われ 笑いの輪」 60代 男性
- 銀賞 「障害あれど 生涯ランナー続けたし」 60代 男性
- 入選 「見た目より 若いと言われ やりすぎた」 60代 男性（野々市山岳協会）
- 入選 「なでしこの 花よ再び ロンドンで」 60代 女性

3.（社）日本山岳協会の「公益社団法人化」について

社団法人 日本山岳協会」は平成25年4月1日をもって「公益社団法人 日本山岳協会」となります。

4. その他

平成25年6月末で森林ボランティア保険が年度更新になります。草刈り機・チェーンソー等を使用している方、又は今後使用される方は補償申し込みをしますので、事務局前川までご連絡をお願いします。

—以上—